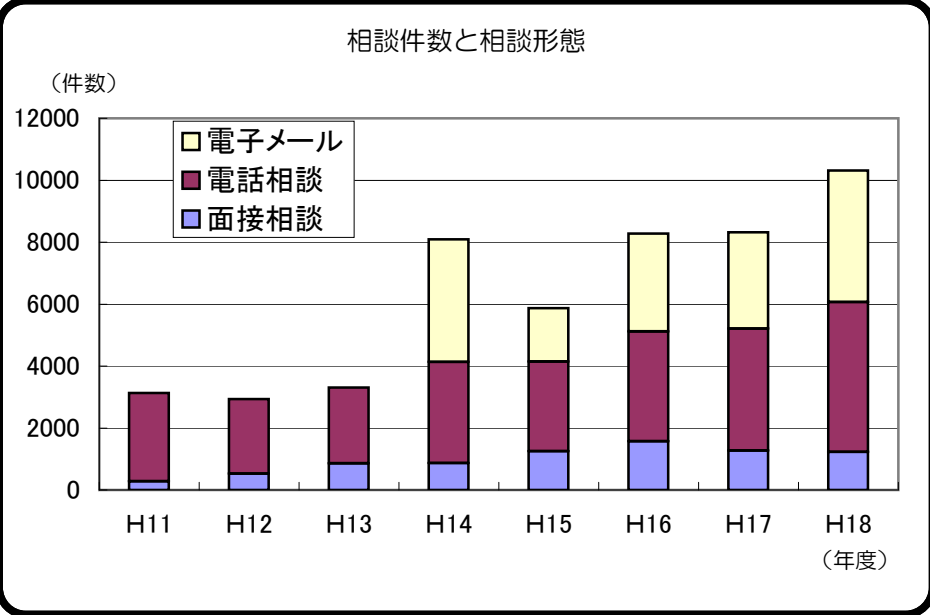


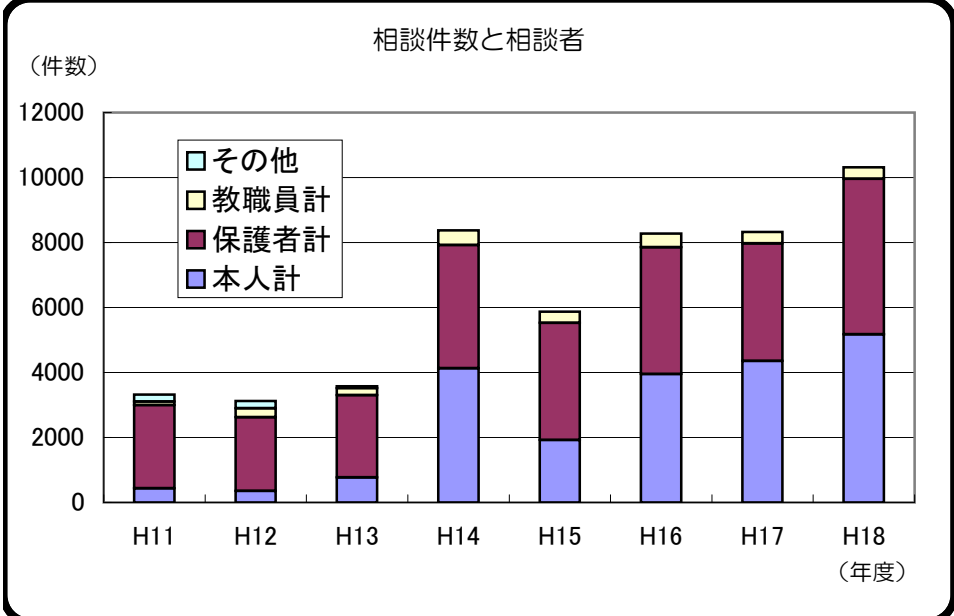


Ⅱ－ 4. いじめ・不登校等の課題 － (8) 教育センターにおけるすこやか教育相談の状況

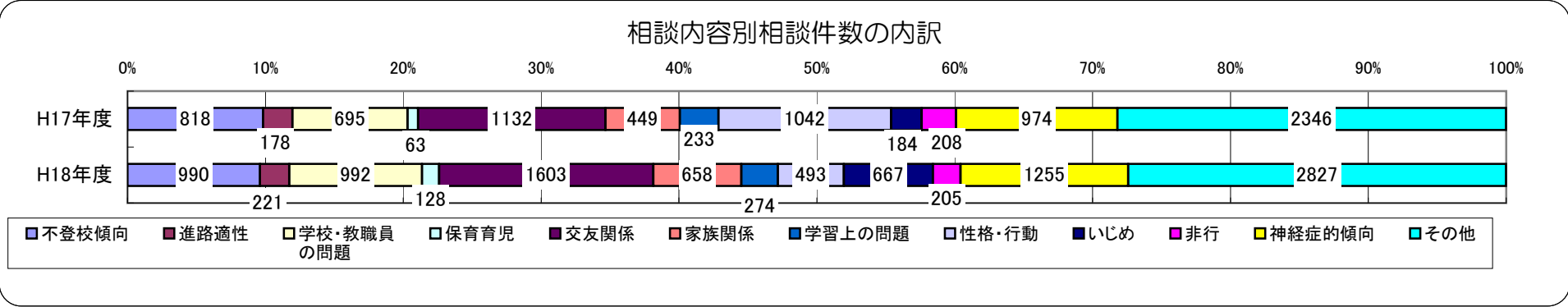
教育センターにおけるすこやか教育相談については、電子メールによる相談の増加等により、相談件数が増加。内容が最も多いのは「交友関係」。



※大阪府調べ



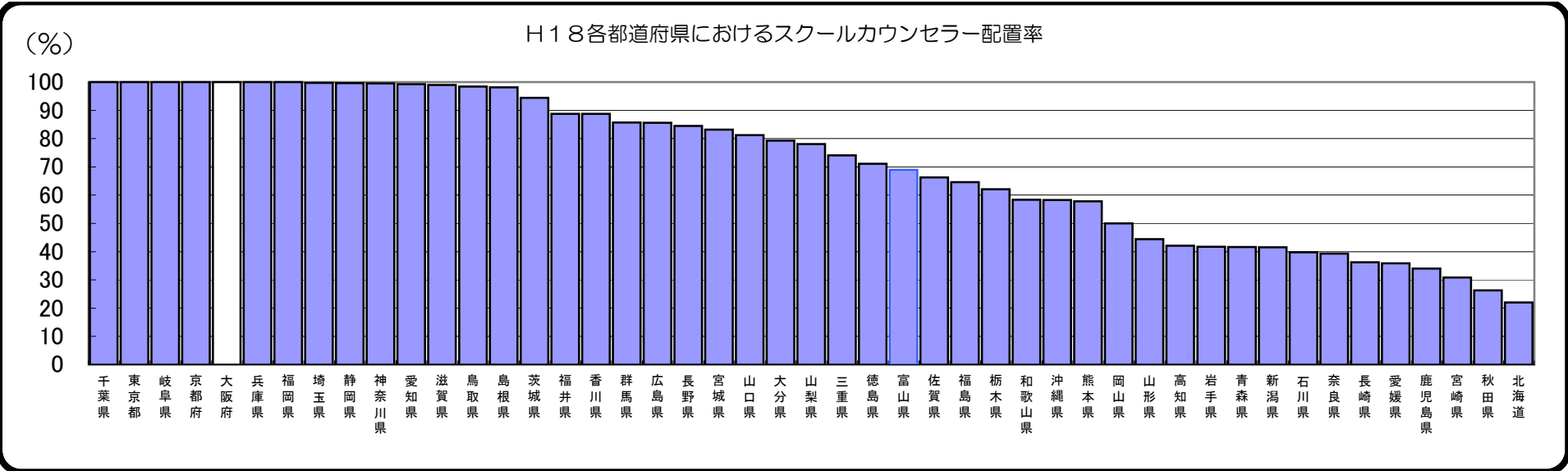
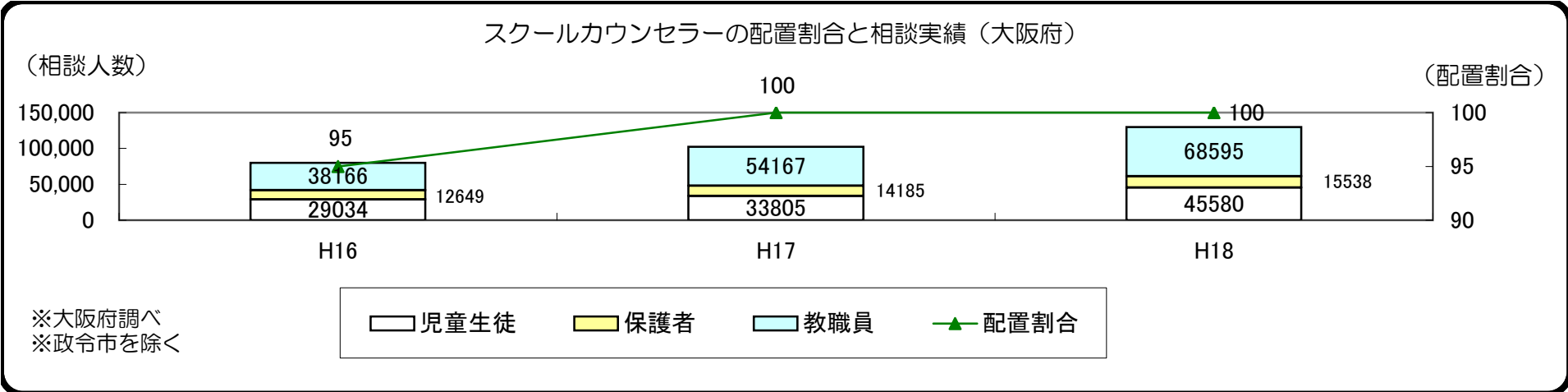
※大阪府調べ
※「その他」は、平成15年度からは「保護者」に含む



※大阪府調べ

Ⅱ－ 4. いじめ・不登校等の課題 － (9) スクールカウンセラーの状況

スクールカウンセラーについては、H17年度全中学校に配置。
相談件数は増加傾向にあるが、特に「教職員」からの相談が増加。



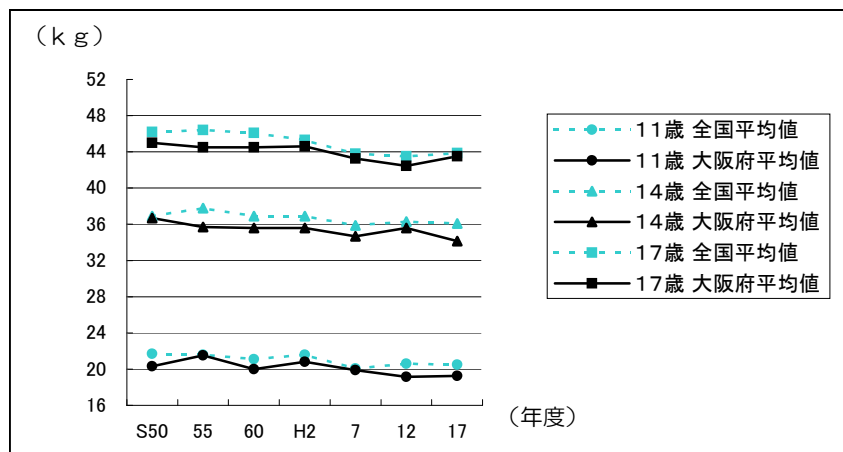
※文部科学省調べ

Ⅱ－ 5. 体力・生活習慣 － (1) 体力・運動能力の推移①

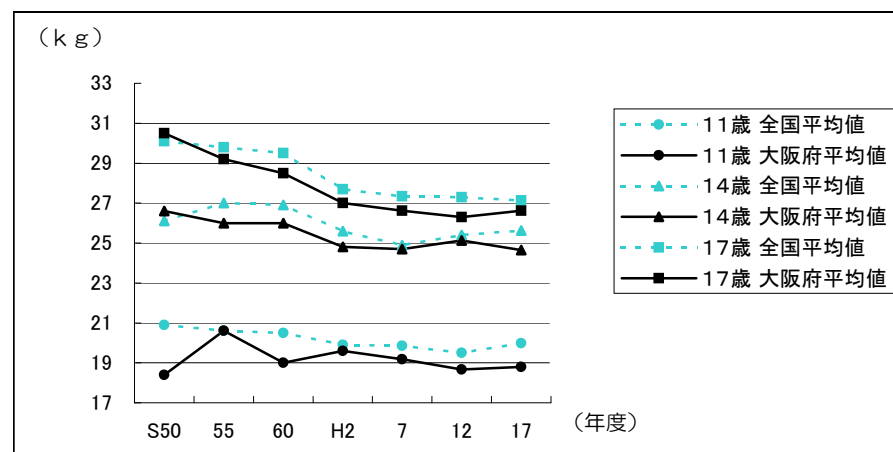
体力・運動能力については、全国平均と比べると敏捷性・走能力において低下傾向が顕著である。

握力

男子

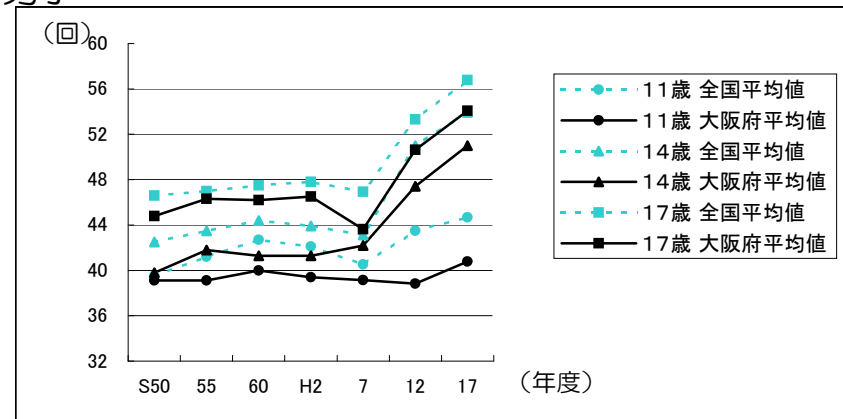


女子

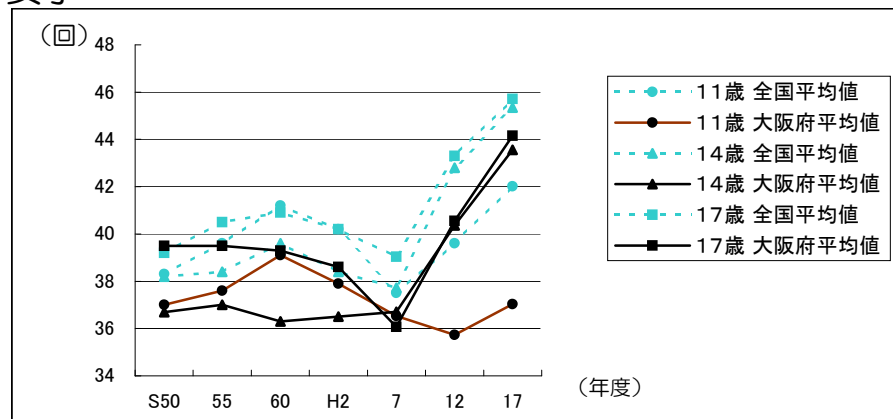


反復横とび

男子



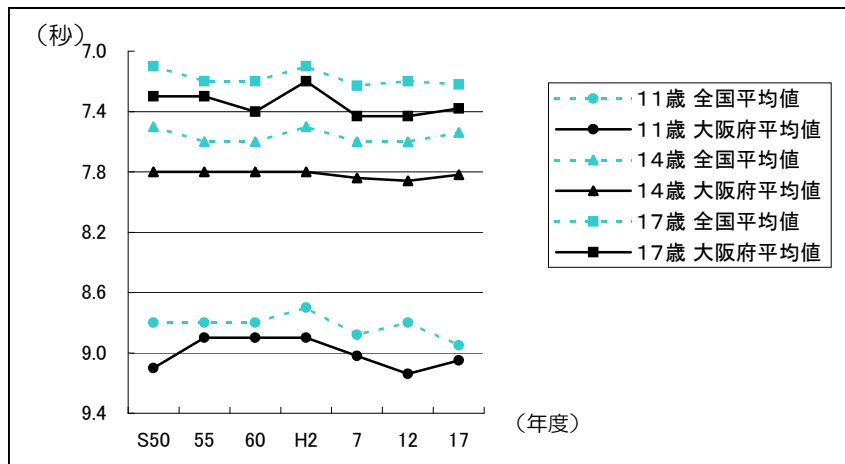
女子



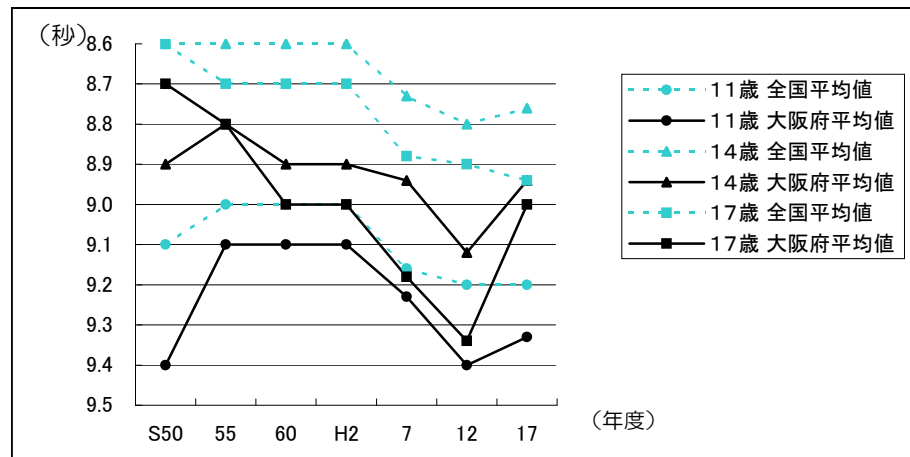
Ⅱ－ 5. 体力・生活習慣 － (1) 体力・運動能力の推移②

50M走

男子

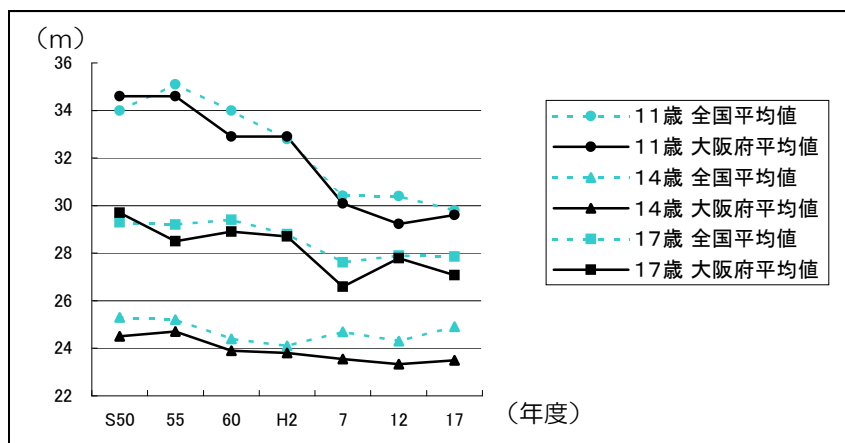


女子

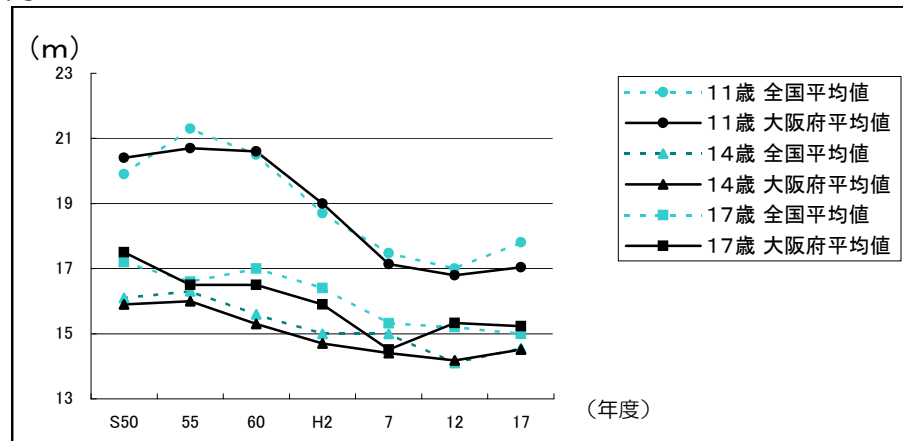


ソフト・ハンドボール投げ (11歳はソフトボール、14・17歳はハンドボール投げ)

男子



女子

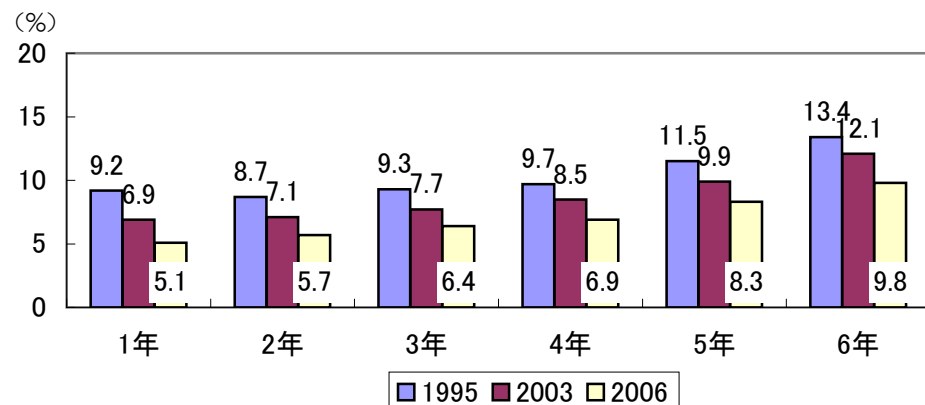


※大阪府調べ

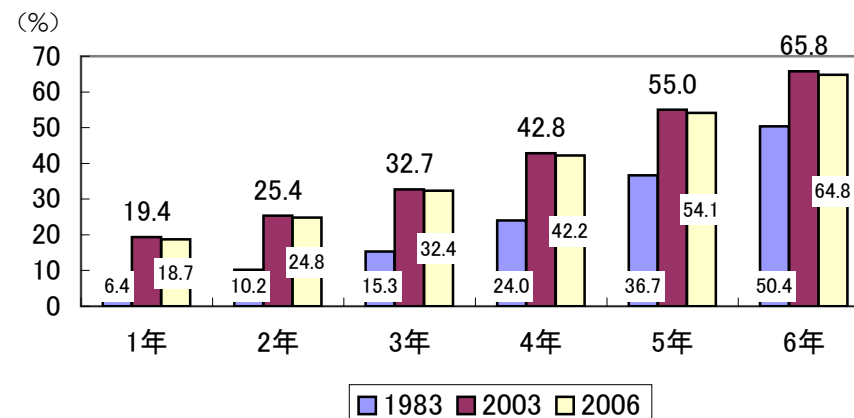
Ⅱ－ 5. 体力・生活習慣 － (2) 生活習慣の変化

生活習慣については、就寝が10時以降の小学校低学年の割合が20年前と比べ倍増。
また、ゲーム・パソコンを1日1時間以上する小学生の割合が各学年とも急増。

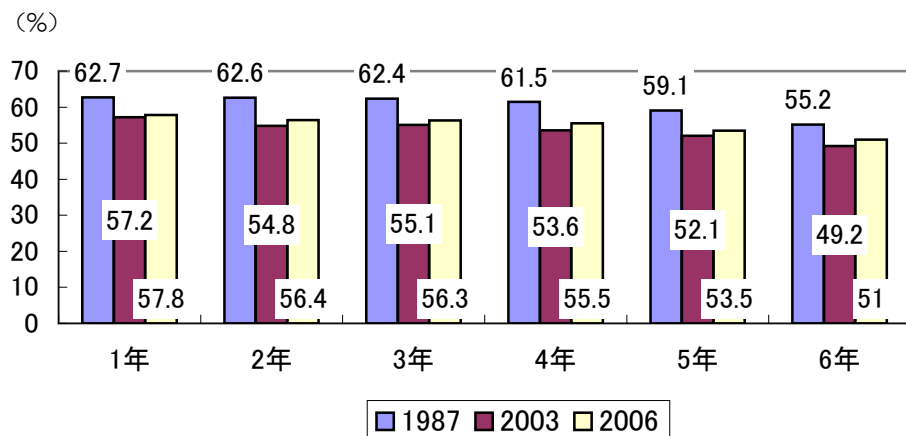
「朝食を食べない」該当者率の年次推移



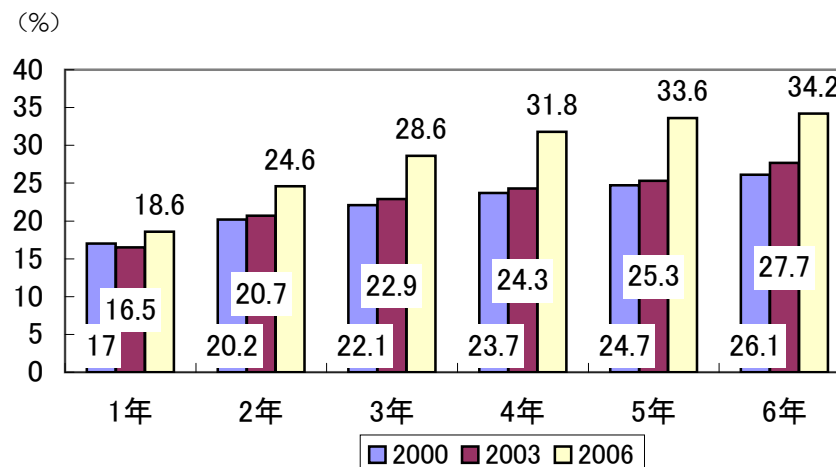
「就寝10時以降」該当者率の年次推移



「運動を活発にするほうである」該当者率の年次推移



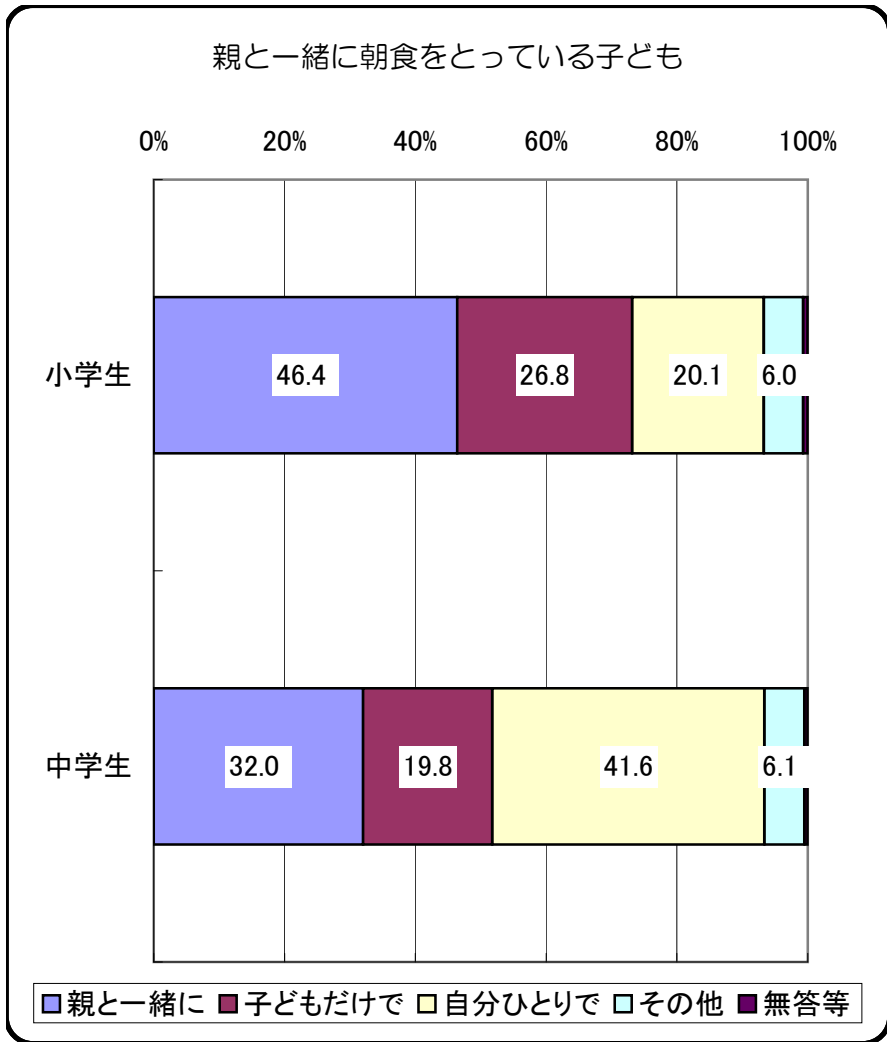
「ゲーム・パソコン1時間以上」該当者率の推移



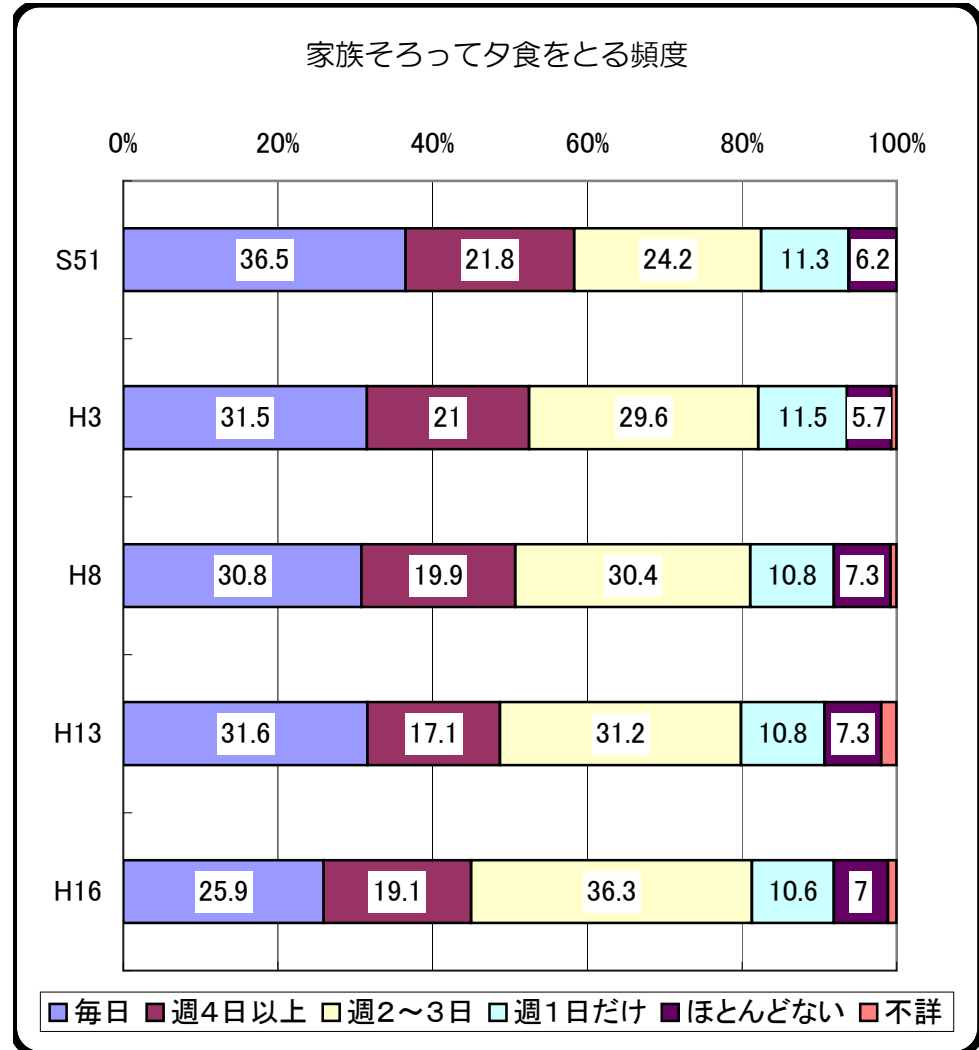
※大阪府調べ
※調査対象：大阪府内の全公立小学校に在籍する全児童

Ⅱ－ 5. 体力・生活習慣 － (3) 食事の風景

家族そろって夕食をとる頻度は減少し、親と一緒に朝食をとる子どもは半数以下。



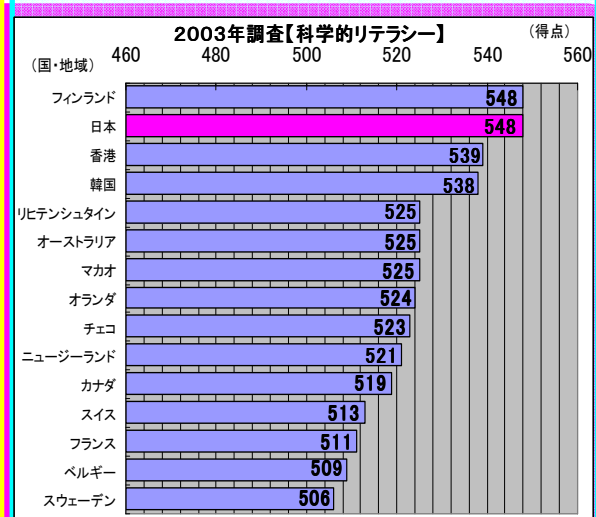
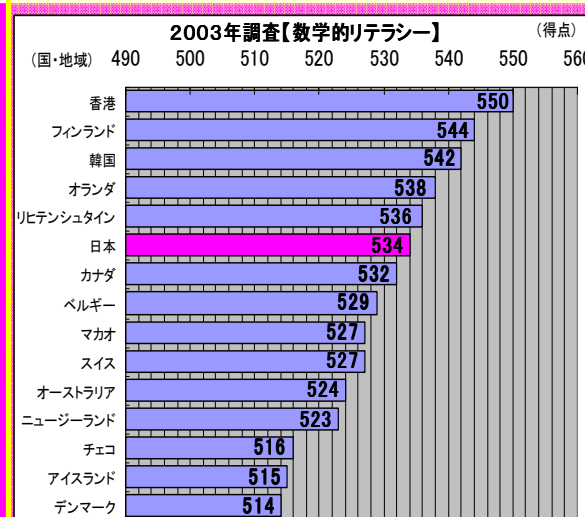
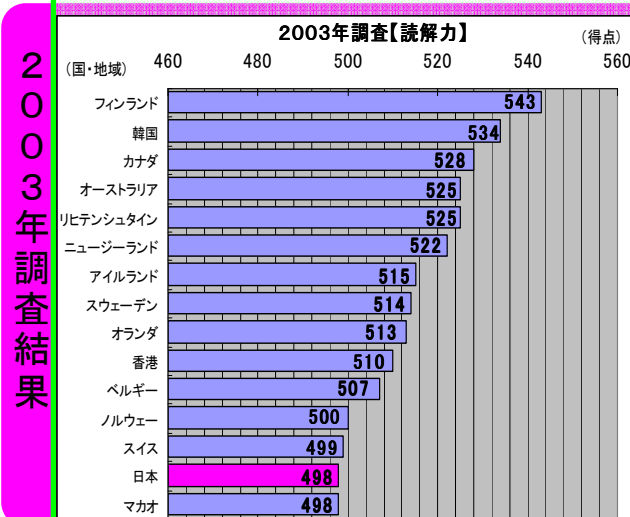
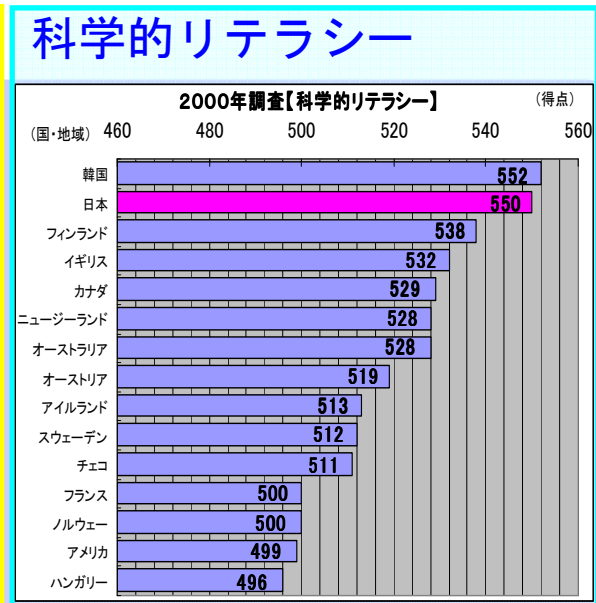
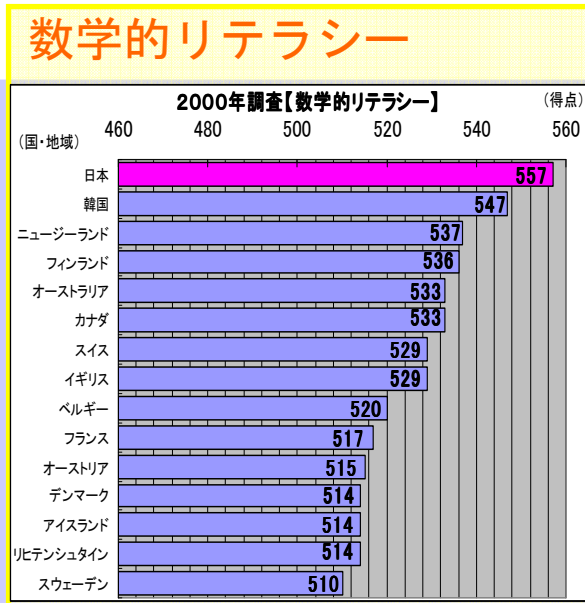
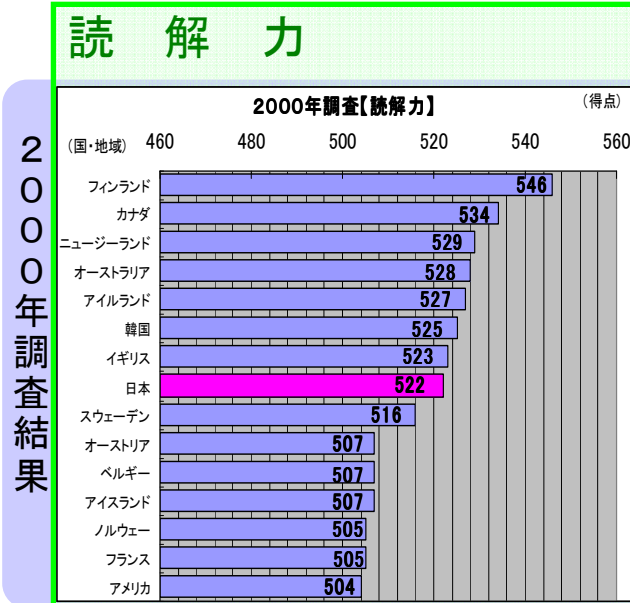
(参考資料) 文部科学省「義務教育に関する意識調査」(2005年度)



(参考資料) 厚生労働省「児童環境調査」及び「全国家庭児童調査」

Ⅱ－ 6. 学力等の状況 － (1) 学力の実態 (小中学校) ①

PISA調査結果〔満15歳の学力〕では、日本の「読解力」が低下傾向。



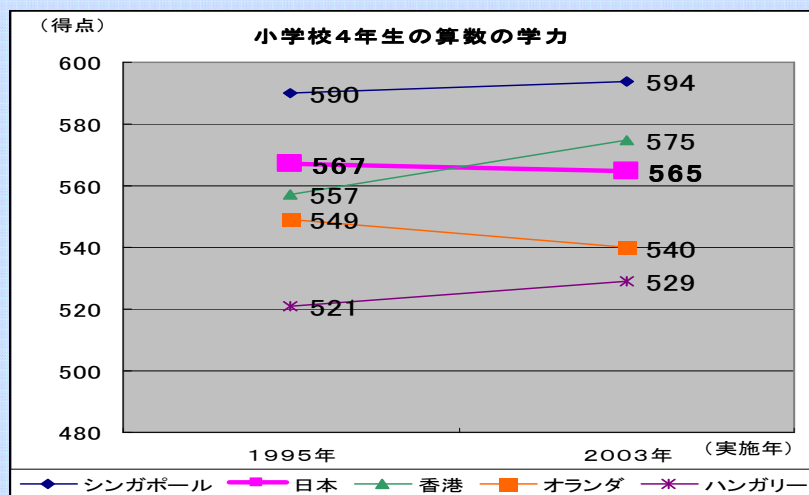
(参考資料) 経済協力開発機構 (OECD) 「PISA2003世との学習到達度調査」

Ⅱ－ 6. 学力等の状況 － (1) 学力の実態 (小中学校) ②

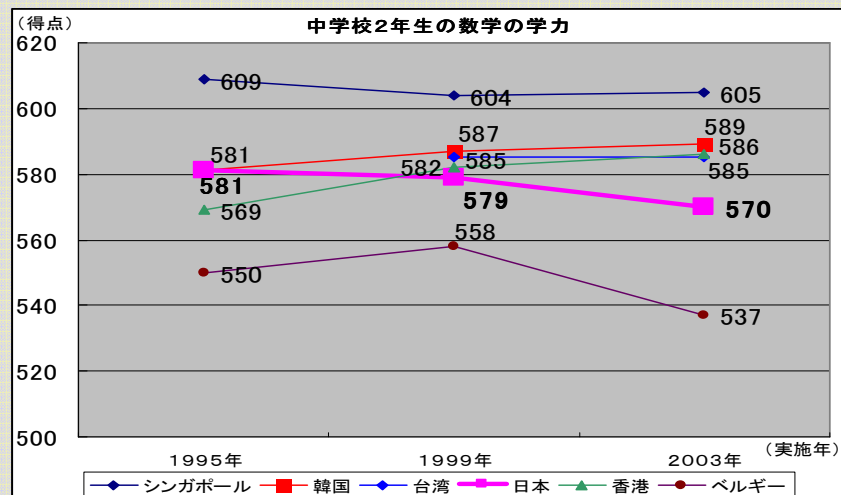
TIMSS調査結果では、小・中学校とも、日本の理科・数学の学力は、国際的にみて依然上位にはあるが、得点が低下傾向。

算数・数学

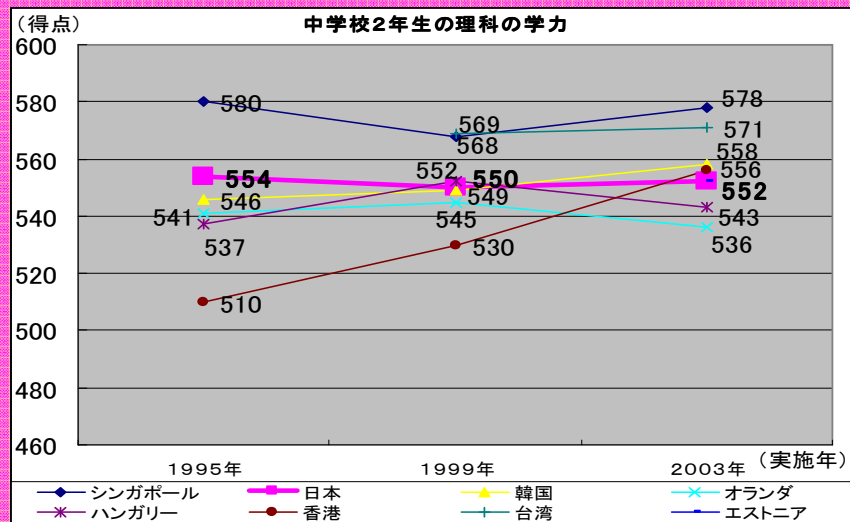
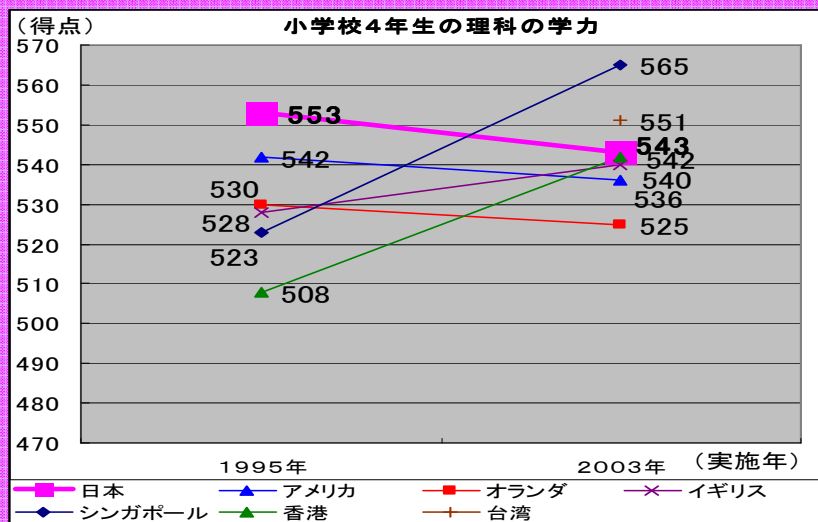
小学校4年生の学力



中学校2年生の学力



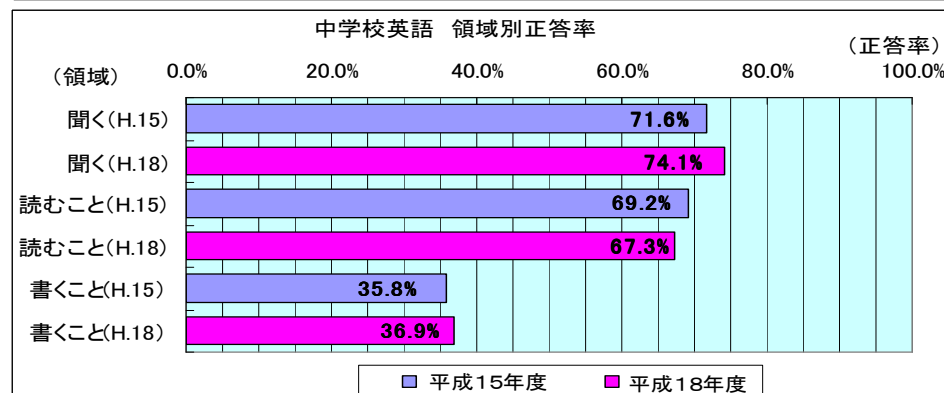
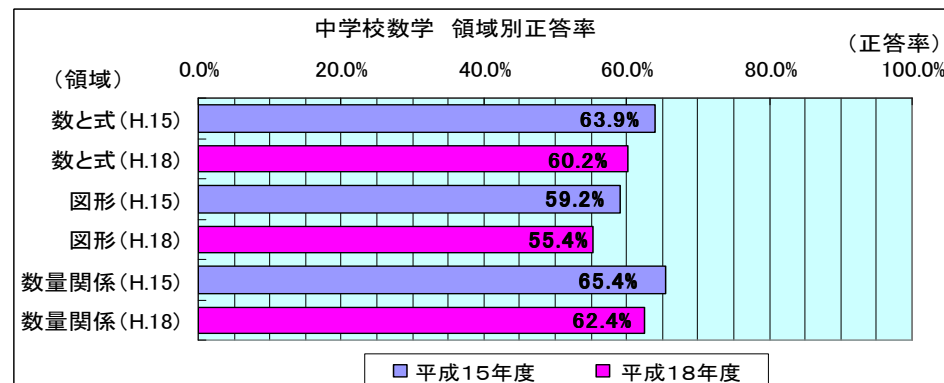
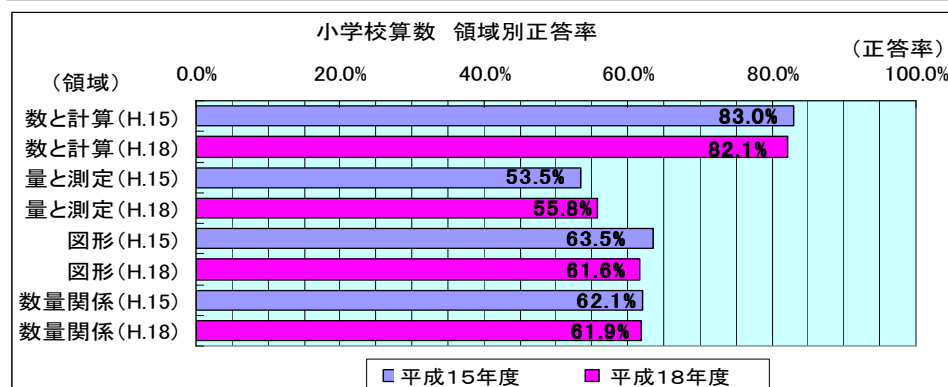
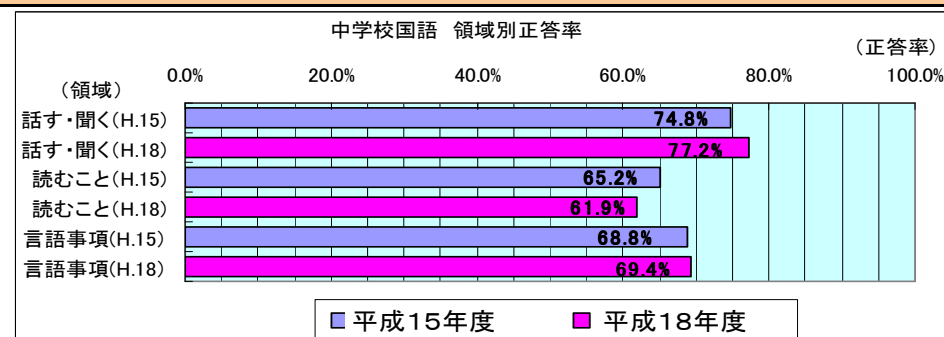
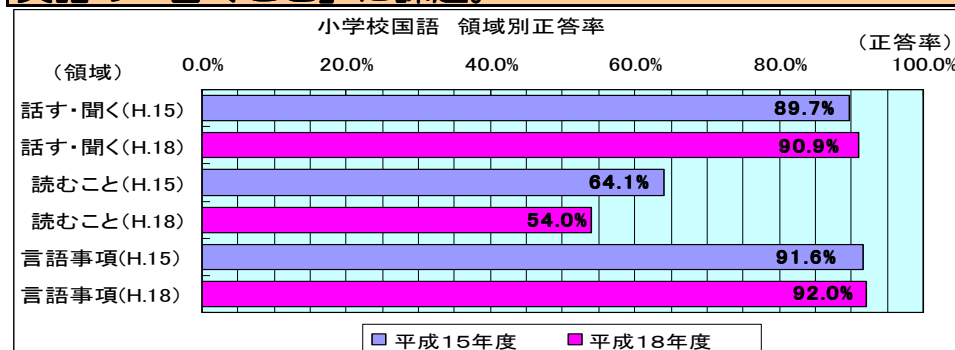
理科



(参考資料) 国際教育到達度評価学会 (IEA) 国際数学・理科教育動向調査

Ⅱ－ 6. 学力等の状況 － (1) 学力の実態 (小中学校) ③

大阪府の学力等実態調査では、国語の「聞くこと・話すこと」や「言語事項」、英語の「聞くこと」の領域で前回を上回る。一方、国語・英語の「読むこと」の領域、中学校の数学全般では前回を下回る。また、依然として英語の「書くこと」に課題。

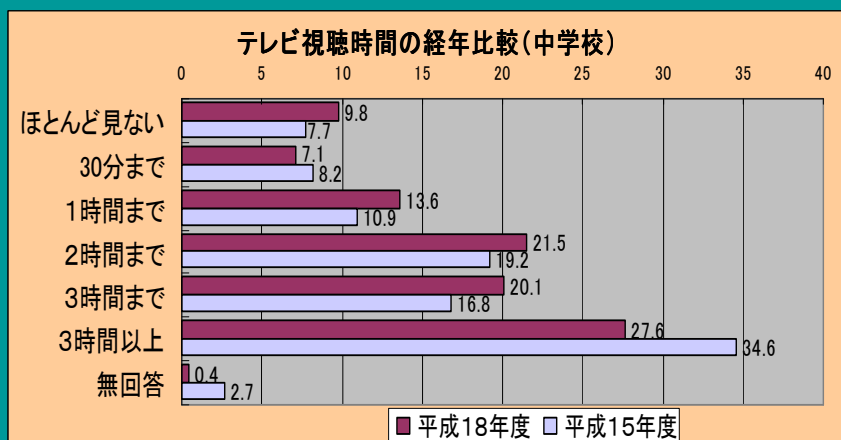
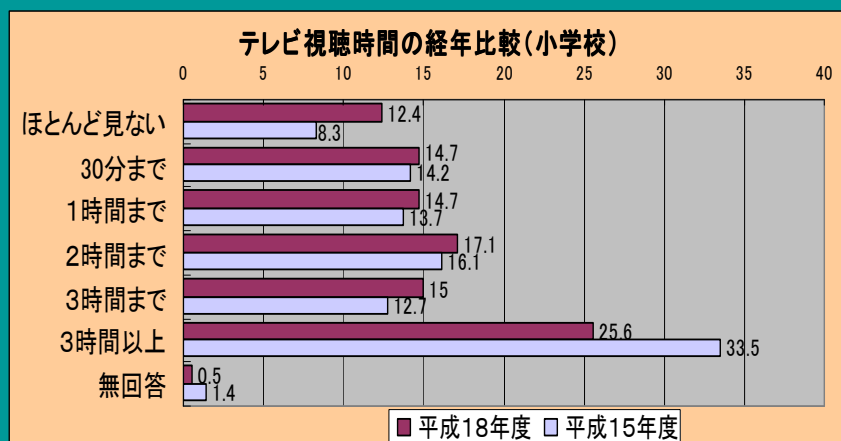


(参考資料) 大阪府「大阪府学力実態調査」(平成15、18年度)

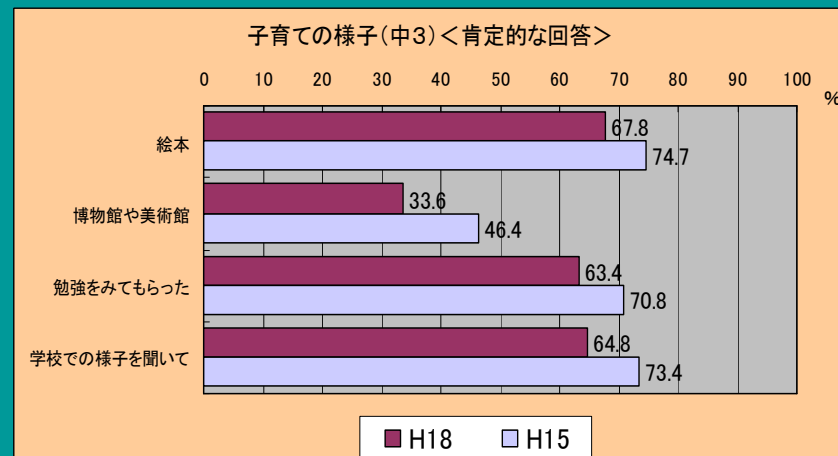
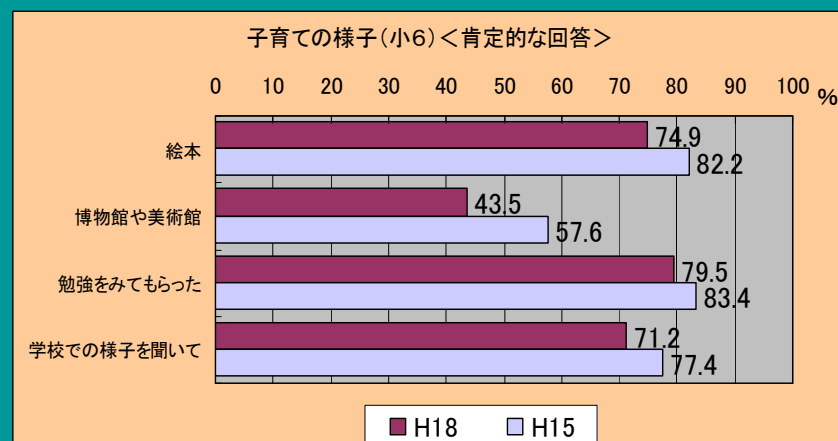
Ⅱ－ 6. 学力等の状況 － (1) 学力の実態 (小中学校) ④

大阪府学力等実態調査の生活調査では、テレビ視聴時間は減少。
また、保護者の子育て関与が低下。

生活 (テレビ視聴時間)



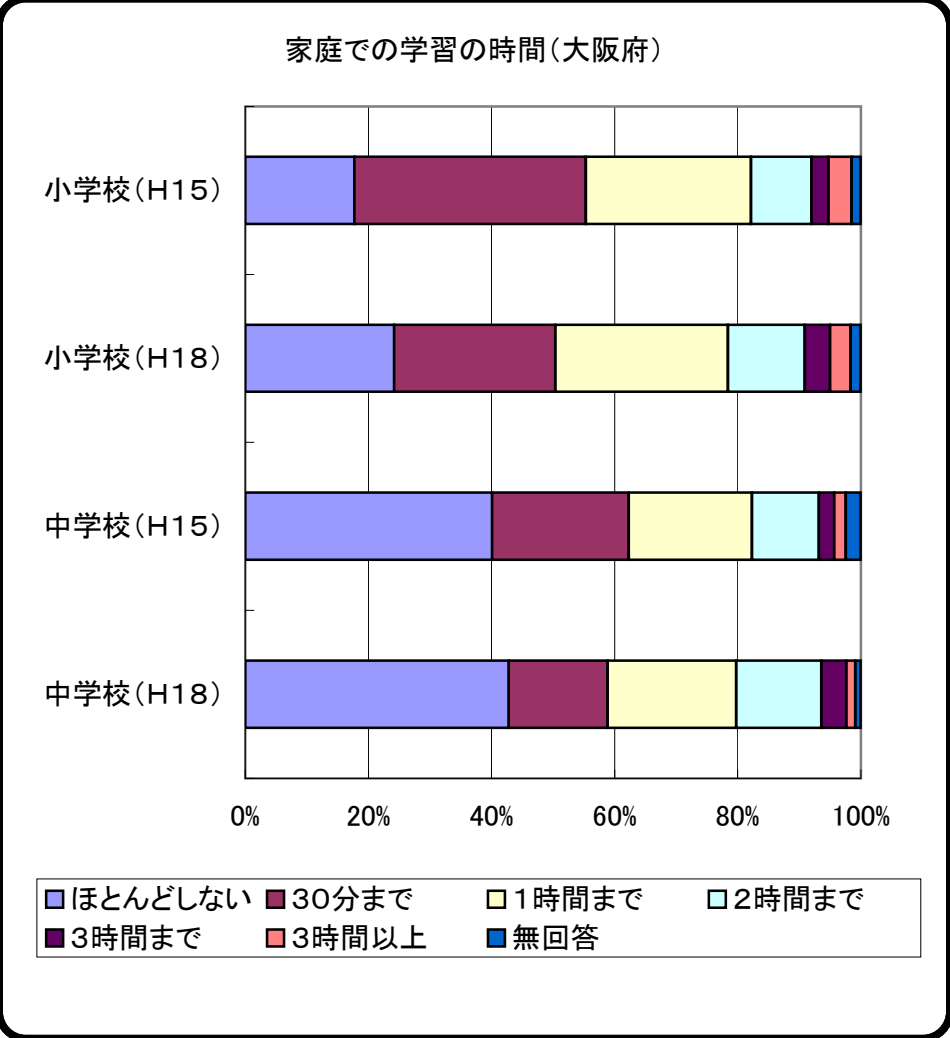
生活 (子育て関与)



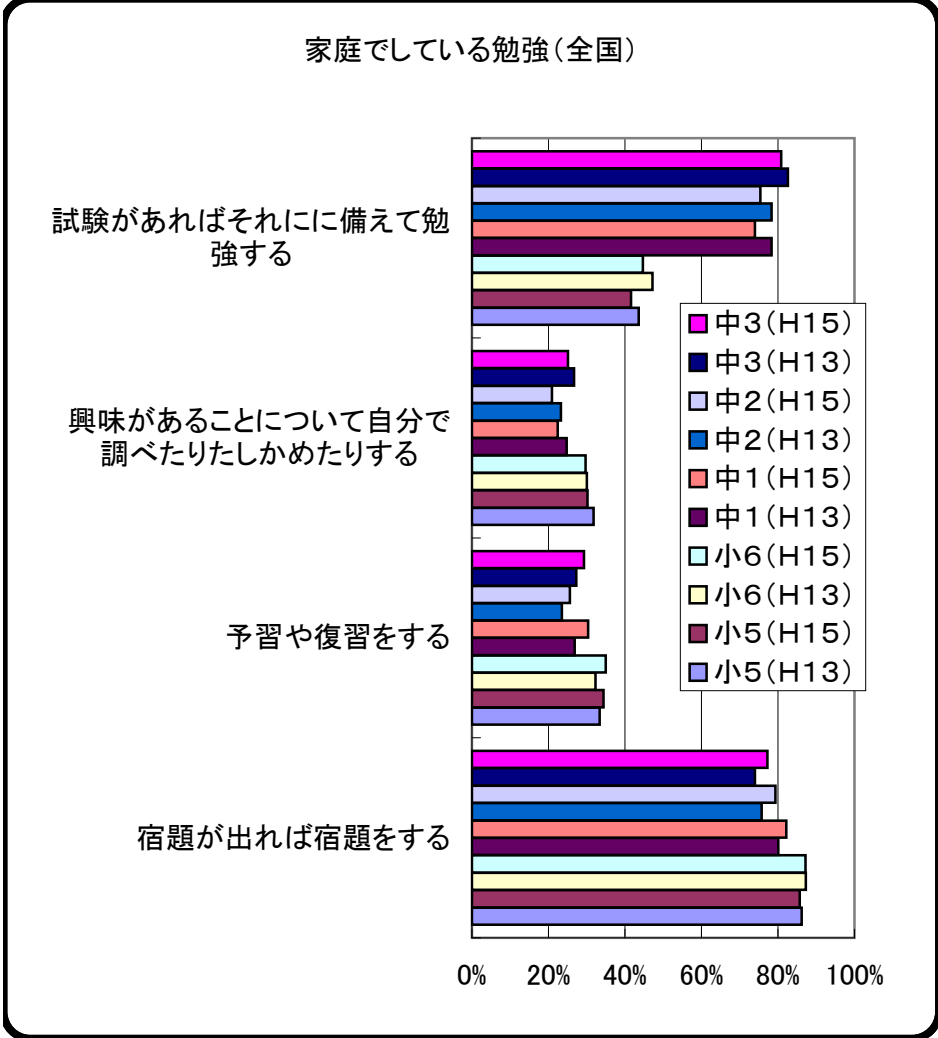
(参考資料) 大阪府「大阪府学力実態調査」(平成15、18年度)

Ⅱ－ 6. 学力等の状況 － (2) 家庭での学習の状況

大阪の小学生、中学生とも家庭でほとんど学習しない児童・生徒が増加傾向。
 学習の内容は宿題や試験勉強の割合が高く、予習・復習の割合は低い。



(参考資料) 大阪府「大阪府学力実態調査」(平成15、18年度)

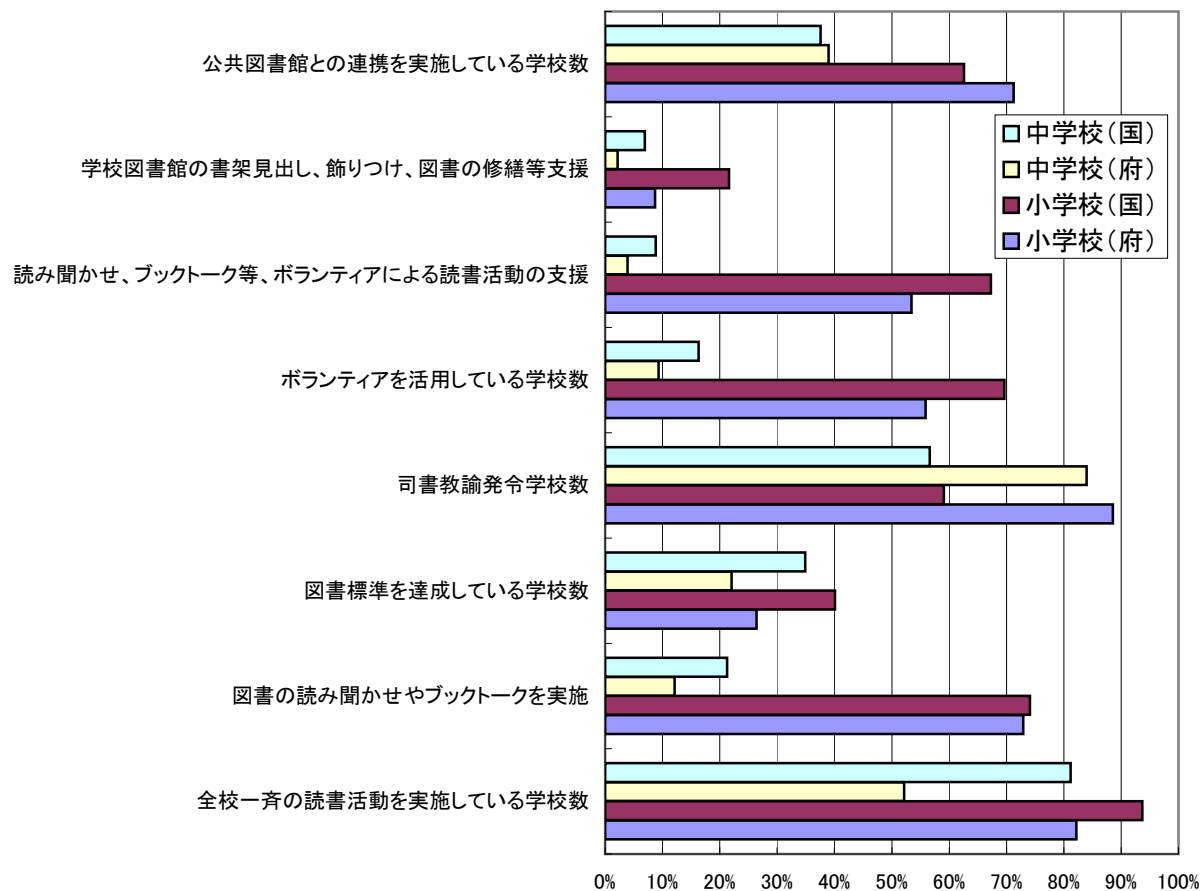


(参考資料) 文部科学省「小中学校教育課程実施状況調査」(平成13、15年度)

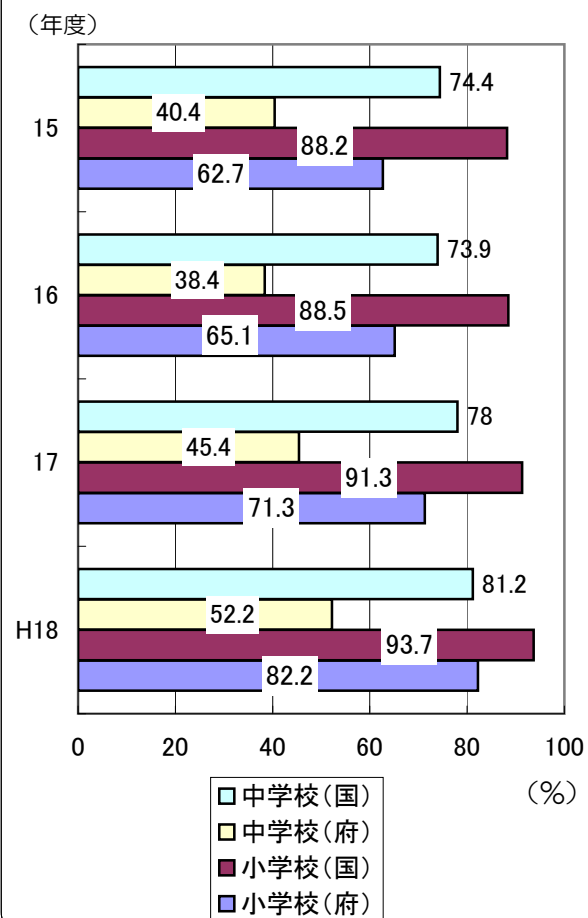
Ⅱ－ 6. 学力等の状況 － (3) 読書の状況 (学校)

全校一斉の読書活動を実施している学校の割合は、大阪府は全国と比べて低い。

学校での読書の状況



一斉読書(朝読書)の取組みの様子

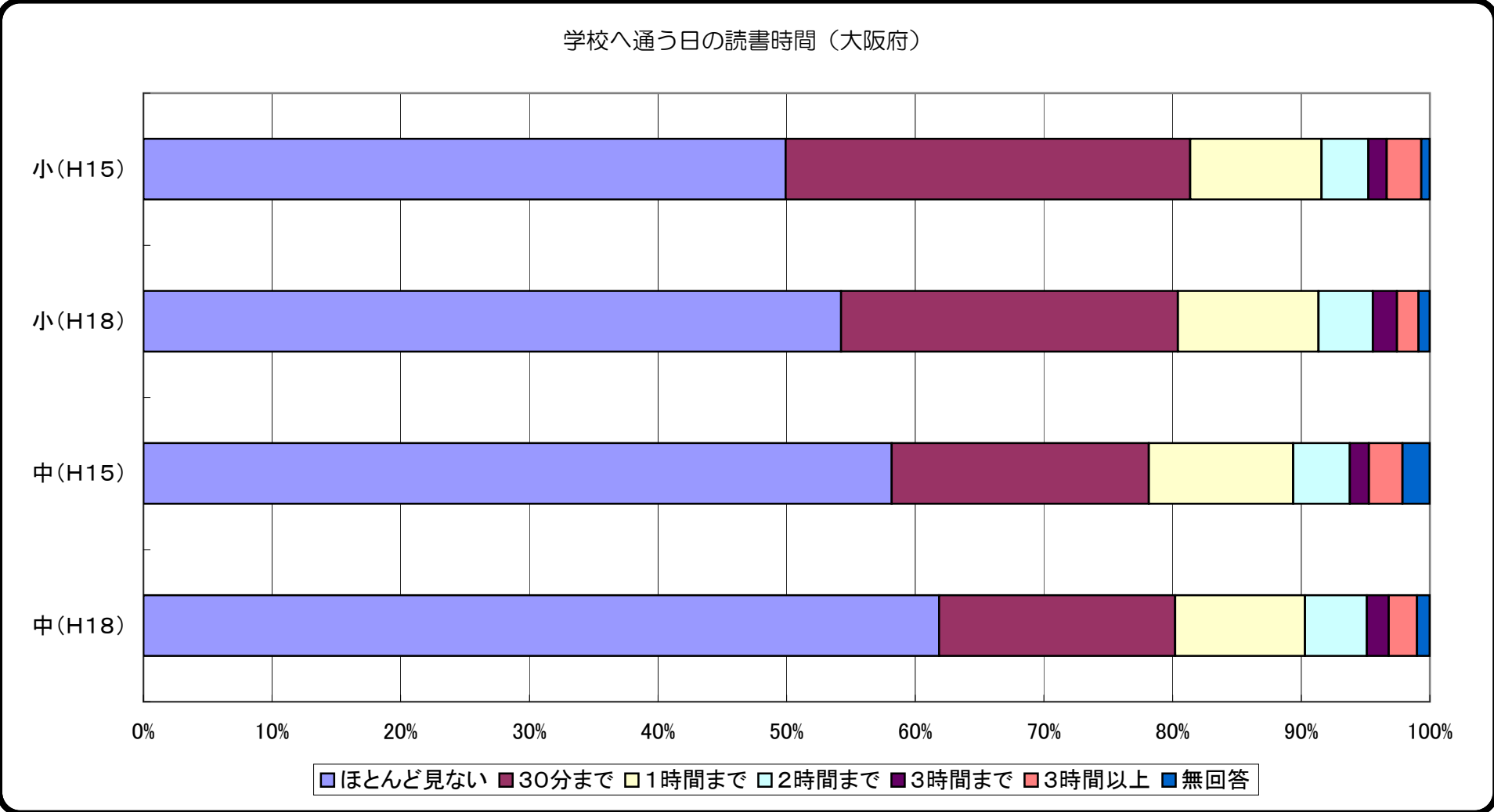


(参考資料) 学校図書館調査 (平成18年5月1日)

※大阪府調べ

Ⅱ－ 6. 学力等の状況 － (3) 読書の状況 (家庭)

大阪では、小・中学生とも学校へ通う日に読書をほとんどしない子どもの割合が半数を超え、しかも増加。



(参考資料) 大阪府「大阪府学力等実態調査 (生活調査)」 (平成15、18年度)